

JAS 分析試験ハンドブック

遺伝子組換え食品検査・分析マニュアル

改訂第 2 版

分析試料取り扱い編

平成 14 年 6 月 20 日



独立行政法人 農林水産消費技術センター

1 はじめに

ここには遺伝子組換え食品検査・分析のために用いる分析試料の取り扱いとして、買い上げから廃棄までの手順を示してある。関連する事項として検査の登録、買い上げに関する手続き、報告の方法等は、それぞれ業務実施要領等を参照すること。

2 市販品の購入

市販品は、基本的に1商品につき3点分析する(注1)こととし、以下の項目に留意して購入する。詳細は、業務実施要領等を参照すること。

検査スケジュールに従い、適当なサンプル及び数を購入する。

検査する品目のサンプリング法に従い必要な量を確保し、できるだけ同一ロットの市販品を購入する。

購入後、表示にある保存方法に従い運搬、保管する。

(注1) 1商品につき3点とは、買い上げ調査における数であり、各事業所での品質管理等に転用するべきではない。母集団を考慮し、適切なサンプル数を選択することが望ましい。

3 市販品検査台帳等の記入

試料を購入したら、市販品検査台帳、検査野帳及び試料に必要事項を記入する。記入に際しては、消去することの出来ないボールペン、又はインクを用いる。また、その他の必要な事務手続きを行う。

(1) 買い上げた市販品について、必要事項を市販品検査台帳に記入する。

検査番号

担当者

名称

商品名

原材料名

対象農産物

内容量

賞味期限等

保存方法

製造業者等

購入年月日

購入価格

店舗名

備考(遺伝子組換えに関する表示(有機を含む))

(2) 検査野帳に必要事項を記入する。

検査番号

検査開始日

名称

試料総量

(3) 試料に検査番号等を明示する。

試料に、検査番号、処理状態、検査対象を明示したラベルを付ける。試料が小さい場合や分割されている場合は、ビニール袋等の容器に入れ、それにラベルを付ける。各試料には検査番号を明示する。

検査番号

処理状態

検査対象

4 市販品の検査分析

市販品は速やかに分析にはいる。賞味期限等を越えて分析してはならない。

分析マニュアルに従い分析を行う。その際、検査野帳等に必要事項をもれなく記入する。

5 試料の保存及び廃棄

サンプリング操作にはいるまで、市販品は包材等に表示された保存方法によって保存する。

サンプリング後の試料は、ビニール袋等に入れ、最低でも再分析可能な量を、原則として四半期報告が終了するまで、-20℃以下で凍結保存する。また、抽出 DNA 溶液についても同様に保存する。

次の場合は、全ての事務処理が終了するまで保存する。

遺伝子組換え農産物が検出されたもので、さらなる調査等の処理が必要なもの。

次の場合は、翌年4月1日まで保存する。

遺伝子組換え農産物が検出されたもので、さらなる調査等の処理が必要でないもの。

分析不能であったもの。

上記保存期限を過ぎた場合には、速やかに生ゴミとして廃棄すること。

試料とした市販品の包材は、検査番号を明示して翌々年の4月1日まで保存する。

6 結果の報告

分析が終了した場合、市販品買い上げ台帳等に結果等必要事項を記入する。同時に、業務実施要領等のために従い報告を行う。

市販品検査台帳記入要領

検査番号

購入順に定められた番号を記入する。

担当者

分析に当たる担当者名を記入する。

名称

一括表示内容を記入する。

商品名

市販品に表示されている最も一般的な名称を記入する。

原材料名

一括表示内容を記入する。

検査対象となる原材料にはアンダーラインを引く。

対象原材料

検査対象となる原材料を記入し、括弧書きで対象農産物を記入する。

内容量

一括表示内容を記入する。

賞味期限等

西暦表示の場合は一括表示内容を記入し、そうでない場合は西暦に変換し、括弧書きで一括表示内容を記入する。

保存方法

一括表示内容を記入する。

製造業者等

一括表示内容を記入（製造所記号等を含む）する。

購入年月日

西暦で記入する。

購入価格

消費税を含んだ価格を記入する。

提供品の場合は0円と記入する。

店舗名

買い上げを行った店舗名を記入する。

備考

遺伝子組換えに関する表示（有機を含む）、ロット記号等、その他の情報を記入する。

検査野帳記入要領

検査番号

市販品検査台帳に登録された番号を記入する。

分析者名

分析に当たった者の名を記入する。

検査開始日

検査を開始した日を記入する。

検査終了日

分析の終了した日を記入する。

名称

一括表示内容を記入する。

対象農産物

検査対象となる原材料を記入し、括弧書きで対象農産物を記入する。

サンプリング量

遺伝子の抽出に使用した量を記入する。

基本操作編

各抽出法の「記録」に記載された内容を記入する。

抽出 DNA 量

UV 測定の結果及びその数値から計算された DNA 量を記入する。

泳動結果

電気泳動の結果から、それぞれの試料について、「検出」、「検出せず」、「検出不能」を記入する。

泳動写真貼付

PCR 産物の電気泳動写真を貼り付ける。

備考

分析上、気がついた点等を記入する。